

国土交通省 北陸地方整備局
配付資料

配付日時	平成30年9月7日
扱い	本紙配付を以て解禁

平成30年度 第2回 北陸地方整備局 新技術活用評価会議 を開催します
～公共事業等の新たな技術の活用と普及にむけて～

北陸地方整備局では、公共工事等への有用な新技術の活用促進を図ることを目的として、「平成30年度 第2回北陸地方整備局新技術活用評価会議」を下記のとおり開催することとしましたのでお知らせします。なお、評価する案件は下記に示すテーマ設定型「道路トンネル点検記録の作成支援ロボット技術」と事後評価3工法となっています。

1. 開催日時 平成30年9月11日(火) 13:30～15:30
2. 開催場所 北陸地方整備局 4階 合同会議室
(新潟市中央区美咲町1丁目1番1号(新潟美咲合同庁舎1号館))
3. 議 題 (1) テーマ設定型(技術公募)について
テーマ名:「道路トンネル点検記録の作成支援ロボット技術」
 - 1) 技術の選定確認について
 - 2) 試行調査計画(案)の確認について(2) 事後評価について
 - 1) 横帯ブロック QS-100005-V
 - 2) スペランチャ(脚絆タイプ) HR-130004-A
 - 3) ハンドガイド式草刈り機ブッシュカッタージョージ

※ 技術について詳しくは、NETISホームページをご覧ください。 HR-080009-V
(NETIS HP: <http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp>)

4. 留意事項 ①報道関係者は、腕章又はネームプレート等(報道関係者と判断できるもの)の着用を必ずお願い致します。
②取材・撮影は評価会議冒頭の「座長挨拶」までとし、審議中の取材・撮影はご遠慮願います。
5. その他 評価会議における評価結果および活用促進技術の指定の結果は、会議後必要な手続きを経て、後日上記HPに公表します。

【同時発表記者クラブ】
新潟、富山、石川県内
その他・専門紙



問い合わせ先
国土交通省 北陸地方整備局
TEL: 025-280-8880(代表)
企画部 施工企画課長 本間 (内線 3451)

■平成30年度第2回 新技術評価会議 審議技術一覧表(事後評価)

No.	技術名称	開発年	登録年度	登録番号	分類	申請従来技術	技術概要	説明写真	開発会社 (会社所在地)
事後評価 1	横帯ブロック	2010	2011	QS-110005-V	河川海岸 一多自然型護岸工 一ブロック積(張)工	横帯工(現場打ち)	本技術は、河川護岸において、護岸の変形の波及を絶縁する横帯工の、コンクリート二次製品で、従来は、全て、現場打撃法で行っていた。本技術の活用により、二次製品の本体と蓋版の設置、及び、内部のコンクリート打設、仕上げの簡易施工のあと、型枠の設置、撤去、養生期間が不要なため、すぐに次工程が行え、工期短縮が図られる。	  <p>完成</p>	インフラテック株式会社 (鹿児島県始良市平松3141-1)
事後評価 2	スベランチャ(脚絆タイプ)	2011	2013	HR-130004-A	河川維持 一堤防除草工 一除草工	安全スパイク長靴	本技術(製品)は、斜面の作業時、安全長靴の内側面に、主爪を下方に装着できる脱着可能な器具で、従来は安全スパイク長靴等に対応していた。本技術(製品)の活用により、クリップが増すので、斜面の移動・直立等における安定性が増し、安全性、施工性の向上が図られる。	   <p>作業状況</p>	丸和ケミカル㈱ (富山県高岡市野村1636番地-1)
事後評価 3	ハンドガイド式草刈機 プッシュカッタージョージ	2011	2013	QS-130010-A	河川維持 一堤防除草工 一除草工	一般的なハンドガイド式草刈機	本技術(製品)は、除草工事に使用する、操縦部の水平維持制御装置と刈取部のスライド装置を装備したハンドガイド式草刈機で、従来はこれらの機能がなかった。本技術(製品)の、水平維持制御装置等により、運転者の転落を防止でき、スライド装置により、河川等の際まで機械で刈る事ができ、安全性と施工性の向上が図られる。	  <p>操作部水平維持制御装置 刈取部スライド装置</p>	株式会社筑水キャニコム (福岡県うきは市吉井町福益90-1)